

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	学問基礎科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	bcxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報のいろは				
	(英文名) What is information?				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 情報科学				
	(英文名) Information Science				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) Hayashi Toshihiro, Fujimoto Ken'ichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	情報科学、認知、コンピュータ、情報化社会／information science, cognition, computer, information oriented society				
21. 授業概要	情報は我々の生活を考える上で必ず出てくるキーワードである。我々が扱っている情報とはどのようなものなのか、本講義では情報を様々な視点から俯瞰してその特徴について講義する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	本講義では、情報に関する代表的な視点から情報の特徴および関連する内容を包括的に学習する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	(1)情報と知覚、認知、感覚の観点から説明できる。 (2)情報科学の基礎的な項目(表現、圧縮、エラー処理、情報量)を説明できる。 (3)コンピュータと関連づけて情報を説明することができる。 (4)インターネットを中心に我々がどのように情報に向き合うべきか意見を述べるすることができる。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS (Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p> <p>第1回目 講義ガイダンス、「情報のいろは」で何を学ぶか？</p> <p>第2回目 情報と感覚</p> <p>第3回目 情報と知覚・認知</p> <p>第4回目 情報と感性</p> <p>第5回目 情報の表現(1) 情報と2進数</p> <p>第6回目 情報の表現(2) 様々なメディアの表現</p> <p>第7回目 情報の圧縮</p> <p>第8回目 情報のエラー処理</p> <p>第9回目 情報理論</p> <p>第10回目 情報の探索</p> <p>第11回目 情報と手続き</p> <p>第12回目 コンピュータと情報(1) 論理演算</p> <p>第13回目 コンピュータと情報(2) 算術演算</p> <p>第14回目 情報と社会(1) インタネットの世界</p> <p>第15回目 情報と社会(2) インタネットの光と影</p> <p>※各回(第1回～15回目)の具体的な公開予定日などは別途連絡する。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>・e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>・自学自習時間(準備時間30時間+事後学習30時間)</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	各回の課題(15回:各最高5点)と最終課題(1回:最高25点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大15回)が10回未満の場合は得点に関わらず不可とする。		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:無し		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>・不明な点があれば遠慮無く電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせていただきたい。</p> <p>・締切間際で提出される課題にファイル名の不備やファイルそのもの間違いが多発しており、課題が受理できないケースも多くなっています。締切後の再提出は認めていませんので、よく確認して余裕を持って課題提出ください。</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	ISBN				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		<input checked="" type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	日時: 金曜1時限目 場所: 幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室 不在時は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(zoom等web会議システムで対応できる場合のみ)			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験	無し				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	無し				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	無し				<input type="checkbox"/>	



## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	授業(e-Learning)90分×8回＋自学自習	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	cdeG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 地域コンテンツと知財管理 その1				
	(英文名) Local Contents and Management of Intellectual Property first period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) Hayashi Toshihiro, Fujimoto Ken'ichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特に無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	知的財産管理, コンテンツ, 特許, 企業経営 Intellectual Property Management, Contents, Patent, Corporate Management				
21. 授業概要	地域コンテンツを紹介しながら, 知的財産管理の基礎的知識について講義する。各回では発明やブラン ドの保護といった知財管理の基礎的な事項についてとりあげる。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	香川県を中心とする四国各地のコンテンツ(発明, 商標など)について知識を得ることができる。知的財 産管理に関する基礎知識を習得し, 問題意識をもって身近な事例に接することができる。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	知的財産管理の基礎知識を説明し, 社会において地域コンテンツを管理する際に注意すべき点など について具体的に述べるができる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能 力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス(授業内容の概要説明を含む) 発明の保護 その1(法目的, 特許を受ける権利)</li> <li>2. 発明の保護 その2(特許出願)</li> <li>3. 発明の保護 その3(特許権の活用)</li> <li>4. 発明の保護 その4(係争対策)</li> <li>5. 罰則・雑則, これまでの復習</li> <li>6. ブランドの保護</li> <li>7. 知財管理と周辺領域(外国出願, 実用新案)</li> <li>8. 期末レポート</li> </ol> <p>【授業及び学習の方法】</p> <p>インターネットで配信されるe-Learning教材を, 大学のPCルームなどで視聴したうえで学習する。視聴する際には, ノートへの書き取りなど, 主体的な態度を心がけなければ, 講義を理解することは不可能である。各回の内容について, 理解度を測るため及び出席確認のため, e-Learning教材と教科書の内容に基づいた小テストを実施するので, 教科書を必ず購入すること。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四国の地域コンテンツに関する調査を目的とした自由課題を公開する。ただし, 成績評価に影響しない。法改正も踏まえ, 適宜, インターネットや書籍等で情報収集に努めること。</li> <li>・自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)</li> </ul>		☑
28. 成績評価の方法と基準	小テスト(10点×7回)+期末レポート30点により評価し, 60点以上の評価により合格とする。ただし, 期末レポートの提出が成績評定の条件とする。		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>パソコンの基本的な使い方など, e-Learning教材を利用するための知識と技術を必要とする。</p> <p>受講人数制限: あり</p> <p>香川大学20名・徳島大学20名・鳴門教育大学20名・高知大学20名・愛媛大学20名</p> <p>2018年度以前に「地域コンテンツと知財管理」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また, 受講制限をかけるので, 大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している履修登録の手続きをよく読んで, 期限内に手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。</p> <p>URL: <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/index.html">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/index.html</a></p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書	書名	「マンガで学ぶ知的財産管理技能検定3級最短マスター(第3版)」			<input checked="" type="checkbox"/>
		ISBN	4862514146	著者名	佐倉 豪	
		出版社	三和書籍出版	出版年	2020	
		金額	2,640円(紙の本)	備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	「マンガで学ぶ知的財産管理技能検定2級最短マスター」			<input type="checkbox"/>
		ISBN	4862511198	著者名	本間 政憲	
		出版社	三和書籍出版	出版年	2011	
		金額	2,530円	備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	<a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa</a> にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要。Moodleの操作ができること。	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	無し	<input checked="" type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodle内のフォーラムにて問い合わせをすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodle内のフォーラムにて問い合わせをすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先/学生相談場所/学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodle内のフォーラム又は電子メール(lc_ipm-c@kagawa-u.ac.jp)			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodle内のフォーラム又は電子メール(lc_ipm-c@kagawa-u.ac.jp)			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験	無し				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	無し				<input type="checkbox"/>	
42. その他/備考	無し				<input type="checkbox"/>	

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	授業(e-Learning)90分×8回＋自学自習	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング	cdeG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 地域コンテンツと知財管理 その2				
	(英文名) Local Contents and Management of Intellectual Property second period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) Hayashi Toshihiro, Fujimoto Ken'ichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年次／全学部	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特に無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	知的財産管理, コンテンツ, 著作権, 企業経営 Intellectual Property Management, Contents, Copyright, Corporate Management				
21. 授業概要	地域コンテンツを紹介しながら, 知的財産管理の基礎的知識について講義する。各回ではインターネット時代におけるコンテンツやデザインの保護といった知財管理の基礎的な事項についてとりあげる。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	香川県を中心とする四国各地のコンテンツ(デザイン, コンテンツなど)について知識を得ることができ る。知的財産管理に関する基礎知識を習得し, 問題意識をもって身近な事例に接することができる。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	知的財産管理の基礎知識を説明し, 社会において地域コンテンツを管理する際に注意すべき点など について具体的に述べるができる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能 力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					



25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス(授業内容の概要説明を含む) 知財法の体系, 知財管理の基礎</li> <li>2. インターネットとデジタルコンテンツ</li> <li>3. コンテンツの保護 その1(著作物と著作者)</li> <li>4. コンテンツの保護 その2(著作者の権利)</li> <li>5. コンテンツの保護 その3(著作隣接権, 保護期間, 侵害対応)</li> <li>6. デザインの保護</li> <li>7. 知財管理と周辺領域(知財法比較, 練習問題)</li> <li>8. 期末レポート</li> </ol> <p>【授業及び学習の方法】</p> <p>インターネットで配信されるe-Learning教材を, 大学のPCルームなどで視聴したうえで学習する。視聴する際には, ノートへの書き取りなど, 主体的な態度を心がけなければ, 講義を理解することは不可能である。各回の内容について, 理解度を測るため及び出席確認のため, e-Learning教材と教科書の内容に基づいた小テストを実施するので, 教科書を必ず購入すること。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>四国の地域コンテンツに関する調査を目的とした自由課題を公開する。ただし, 成績評価に影響しない。法改正も踏まえ, 適宜, インターネットや書籍等で情報収集に努めること。</p> <p>自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	<p>小テスト(10点×7回)+期末レポート30点により評価し, 60点以上の評価により合格とする。ただし, 期末レポートの提出が成績評定の条件とする。</p>		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	☑
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>パソコンの基本的な使い方など, e-Learning教材を利用するための知識と技術を必要とする。</p> <p>受講人数制限: あり</p> <p>香川大学20名・徳島大学20名・鳴門教育大学20名・高知大学20名・愛媛大学20名</p> <p>2018年度以前に「地域コンテンツと知財管理」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行わない。また, 受講制限をかけるので, 大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している履修登録の手続きをよく読んで, 期限内に手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。</p> <p>URL: <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/index.html">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/index.html</a></p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書	書名	「マンガで学ぶ知的財産管理技能検定3級最短マスター(第3版)」			<input checked="" type="checkbox"/>
		ISBN	4862514146	著者名	佐倉 豪	
		出版社	三和書籍出版	出版年	2020	
		金額	2,640円(紙の本)	備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	「マンガで学ぶ知的財産管理技能検定2級最短マスター」			<input type="checkbox"/>
		ISBN	4862511198	著者名	本間 政憲	
		出版社	三和書籍出版	出版年	2011	
		金額	2,530円	備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	<a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa</a> にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要。Moodleの操作ができること。	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	無し		<input checked="" type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	Moodle内のフォーラムにて問い合わせをすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodle内のフォーラムにて問い合わせをすること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先/学生相談場所/学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodle内のフォーラム又は電子メール(lc_ipm-c@kagawa-u.ac.jp)			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodle内のフォーラム又は電子メール(lc_ipm-c@kagawa-u.ac.jp)			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の實務経験	無し				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	無し				<input type="checkbox"/>	
42. その他/備考	無し				<input type="checkbox"/>	

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 香川を学ぶ (英文名) Studies on Kagawa Region				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し (英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 藤本 憲市, 林 敏浩 (ローマ字) Fujimoto Ken'ichi, Hayashi Toshihiro				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	香川県, 歴史, 文化, 伝統, 地域社会, 環境問題 Kagawa prefecture, History, Culture, Tradition, Community, Environment issues				
21. 授業概要	香川県に関することを多視的な側面から取り上げて講義する。具体的には、四国遍路, 栗林公園, 伝統食, 離島, 及び水問題の一端を紹介する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	香川県(讃岐地方)にまつわる歴史, 文化, 伝統, 地域社会, 及び環境に関する課題を理解し, 「地域」に関する知識や関心・意欲を高めることができるようになることが本授業の目的である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 讃岐地方の歴史, 文化, 伝統を理解できる(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」に対応)。 2. 地域社会や環境に関する現状について説明することができる(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応)。 3. 地域社会や環境面での課題を探究し, その解決策を提示できる(共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸課題に対する探究能力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】諸事情により授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.ガイダンス(授業概要等), 四国遍路の歴史</li> <li>2.讃岐の札所と遍路道</li> <li>3.近世の讃岐国における遍路の実態</li> <li>4.栗林公園の美と歴史</li> <li>5.讃岐の伝統食</li> <li>6.香川の離島の魅力</li> <li>7.香川の水を考える</li> <li>8.期末レポート</li> </ol> <p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、ガイダンスを参照のこと。</p>	☑	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>各回の授業内容について理解を深めるため、インターネットや書籍等で適宜情報収集に努めること。e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課す。</p> <p>自学自修(準備学修15時間+事後学修15時間)</p>	☑	
28. 成績評価の方法と基準	<p>小テスト7回50点(特に到達目標1に対応)、期末レポート50点(特に到達目標2及び3に対応)により評価し、60点以上の評価により合格とする。ただし、すべての小テストを提出(受験)していない場合は、期末レポートの提出資格を与えない。</p>	☑	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は実施しない。	☑
	連携大学学生向け	再試験は実施しない。	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>所属大学において本授業科目の履修が許可され、所定の期日までに履修登録及びMoodle上でのコース登録が完了していること。パソコンの基本的な使い方など、e-Learning授業を受講するための知識と技術(動画視聴, ファイル閲覧, オンラインテスト受験, 課題提出など)を有していること。</p> <p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学40名・徳島大学40名・鳴門教育大学40名・高知大学40名・愛媛大学40名</p> <p>2018年度以前に、「香川を学ぶ」の単位を修得している場合は履修できない。</p> <p>2019～2022年度において、「香川を学ぶ その1」、「香川を学ぶ その2」のいずれかの単位を修得している場合は履修できない。</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため講義室での授業は行いません。履修可能人数に制限があります。所属大学における所定の期限内に履修登録を完了できなかった場合は履修を許可しません。また、履修登録とは別にe-Learningシステム(Moodle)上のコース登録も必要です。これらの詳細は、大学連携 e-Learning 教育支援センター 四国 ウェブ ページ ( <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/index.html">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/index.html</a> ) に掲載している履修登録の手続き等を熟読のこと。</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワーは設定しないので、電子メール(kgw01-c@kagawa-u.ac.jp)を利用のこと。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	オフィスアワーは設定しないので、電子メール(kgw01-c@kagawa-u.ac.jp)を利用のこと。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	kgw01-c@kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	kgw01-c@kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験	無し				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	無し				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	無し				<input type="checkbox"/>	



## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 香川の文化と歴史				
	(英文名) Culture and History of Kagawa				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 藤本 憲市				
	(ローマ字) Ken'ichi Fujimoto				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1年次生以上	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	無し
	連携大学 学生向け	無し		連携大 学 学生向け	無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	香川、瀬戸内地域、離島、生活文化 Kagawa, Setouchi Area, Islands of Seto Inland Sea, Lifestyle and Culture				
21. 授業概要	香川の地域特性のひとつとして、瀬戸内海とこれにまつわる生活環境や文化を挙げる事ができる。本 科目では、瀬戸内海地域に焦点を絞り、歴史と生活・習俗について概観する。毎回、各分野・地域の専 門家が文化と歴史にまつわるトピックについて講義をおこなう形式ですすめていく。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	瀬戸内地域を中心とした香川に関する知見を深めるとともに、同地域が抱える課題とその解決に向けた 取り組みの様態について理解することを目的とする。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	瀬戸内地域を中心とした香川の地域的特徴と課題について説明ができる。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					
25. カリキュラムマッ プ(授業科目の主題・ 授業科目の到達目標 とカリキュラムマップ)					

<p>26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法</p>	<p>第1回 ガイダンス、香川の歴史  第2回 景観論の観点から瀬戸内地域を概観する  第3回 香川における文化振興の現状を理解する  第4回 離島と離島振興について理解する  第5回 香川の島々の暮らし① 男木島  第6回 香川の島々の暮らし② 豊島  第7回 瀬戸内の漁労文化と島の暮らし  第8回 魚食文化について</p> <p>※授業構成の関係上、授業内容が変更・前後することがあります。もし変更する場合は第1回ガイダンスで案内します。詳しい受講方法(小テストの受験の仕方、受験期間、配信映像の視聴期間等)についてはmoodle内の本科目ページにて説明をしています。受講にあたっては、必ずそちらも一読してください。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
<p>27. 授業時間外学習にかかわる情報</p>	<p>各回の授業内容について理解を深めるため、各自、インターネットや書籍等で適宜、情報収集に努めること。</p> <p>自学自習(準備学習16時間+事後学習16時間)</p> <p>【授業時間外学習について】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前学修として、香川県に關係する歴史的な出来事について文献等により調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間)</li> <li>2. 事前学修として、瀬戸内海の景観について文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間)</li> <li>3. 事前学修として、香川県にまつわる文化について文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間)</li> <li>4. 事前学修として、香川県の離島について文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間)</li> <li>5. 事前学修として、瀬戸内の島々の暮らしについて文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間×2回)</li> <li>6. 事前学修として、瀬戸内における漁労の現状について文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。(計4時間)</li> <li>7. 事前学修として、香川県における魚食の特徴について文献等で調査する。事後学修として、授業内容をまとめるとともに小テストを受験する。更に、第1-7回の授業内容を総復習するとともに期末レポートを作成する。(計4時間)</li> </ol>	<input checked="" type="checkbox"/>				
<p>28. 成績評価の方法と基準</p>	<p>各回の小テストおよび期末レポートにより評価する。</p> <p>配点:109点満点(小テスト64点(各8点×8回)+期末レポート45点)。</p> <p>合格基準:109点満点を100点満点に換算した上で60点以上を合格とする。</p> <p>なお、小テスト未受験回数が3回以上の受講生には、期末レポートの提出資格を与えない。期末レポートを提出しても評価対象としない。</p> <p>すべての小テスト及び期末レポートはMoodle(LMS)を用いてオンラインで実施する。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
<p>29. 再試験の有無</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="357 1870 587 1921">自大学学生向け</td> <td data-bbox="587 1870 1423 1921">無し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1921 587 1966">連携大学学生向け</td> <td data-bbox="587 1921 1423 1966">無し</td> </tr> </table>	自大学学生向け	無し	連携大学学生向け	無し	<input checked="" type="checkbox"/>
自大学学生向け	無し					
連携大学学生向け	無し					
<p>30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限</p>	<p>所属大学において本授業科目の履修が許可され、所定の期日までに履修登録及びMoodle上でのコース登録が完了していること。パソコンの基本的な使い方など、e-Learning授業を受講するための知識とスキル(動画視聴、ファイル閲覧、オンラインテスト受験、課題提出など)を有していること。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				



	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学50名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名</p> <p>2018年度以前に、「香川の文化と歴史」(2単位)を単位修得している場合は履修できない。</p> <p>2019～2020年度に、「香川の文化と歴史 その1」、「香川の文化と歴史 その2」のいずれかの単位を修得している場合は履修できない。</p>																																																						
<p>31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの</p>	<p>第1回目から第8回目までの受講及び期末試験の受験(レポート提出)はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>32. 教科書(購入の必要のある図書)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 10%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>33. 教科書・参考書に関する補足情報</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 10%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>34. Webテキスト(URL・説明)</p>	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト  <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>35. パソコン必要度</p>	<p>必要</p>	<p>36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目</p>	<p>無し</p>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>37. 教員相互参観授業公開日程</p>				<input type="checkbox"/>																																																			
<p>38. オフィスアワー</p>	<p>自大学 学生向け</p>	<p>Moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム等)にて問い合わせをすること。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	<p>連携大学 学生向け</p>	<p>Moodle内のコミュニケーションツール(フォーラム等)にて問い合わせをすること。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			

39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	kgw-br-c@kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	kgw-br-c@kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験	本科目はオムニバス形式の授業であり、半数以上の授業回を実務経験のある講師（地方公共団体公務員、学芸員等）が担当している。画像や映像、資料等を多用しながら、それぞれの現場での近年の実践事例や調査研究の成果を提示している。		<input checked="" type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	無し		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	前期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 四国の歴史と文化 その1				
	(英文名) History and Culture of Shikoku area first period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 歴史編				
	(英文名) History				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 守田 逸人, 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) MORITA Hayato, Hayashi Toshihiro, FUJIMOTO Kenichi,				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1年～全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1年～	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	四国の歴史と文化 その 2 文化編	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	四国の歴史と文化 その2 文化編
	連携大学 学生向け	四国の歴史と文化 その 2 文化編		連携大学 学生向け	四国の歴史と文化 その2 文化編
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	四国、瀬戸内海、香川県、歴史 Shikoku area, The Seto Inland Sea, Kagawa prefecture, History,				
21. 授業概要	四国の歴史・文化について講義する。各回では、四国で活躍した人々の事績や、都と四国との結びつき、四国に残された遺跡・史跡など、四国の歴史に関わるテーマを取り上げる。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	四国の各大学に在籍する自分が暮らす地域の歴史について知識を得ることができる。また、現代的課題でもある四国地域と京阪神地域との結びつきなどについて、理解を深めることもできる。 本授業での学習を通じて、香川を含む四国地域に関する知識や関心・意欲を高めるとともに、四国の歴史と文化に関する研究の背景や現状について説明できるようになることが目的である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 四国地域の「歴史と文化」についてのいくつかのトピックを詳しく説明できる。(共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応) 2. 地域の歴史と文化に関心を持ち、自己と関連づけて理解し、地域社会の将来について考えることができる。(共通教育スタンダードの「地域に関する関心と理解力」、「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p><b>【授業計画】</b></p> <p>①ガイダンス(授業概要、受講方法等について) 平安末阿波武士と仏教文化(大石雅章/鳴門教育大学理事・副学長(教育・研究担当))</p> <p>②屋島合戦にいたる源平両軍の軍略(1)(田中健二/香川大学教育学部)</p> <p>③屋島合戦にいたる源平両軍の軍略(2)(田中健二/香川大学教育学部)</p> <p>④屋島合戦にいたる源平両軍の軍略(3)(田中健二/香川大学教育学部)</p> <p>⑤中世の瀬戸内海水運(1)(田中健二/香川大学教育学部)</p> <p>⑥中世の瀬戸内海水運(2)(田中健二/香川大学教育学部)</p> <p>⑦阿波商人の活躍と江戸時代の経済(桑原恵/徳島大学総合科学部)</p> <p>⑧期末レポート(オンライン)</p> <p><b>【e-Learning科目の履修登録に際して】</b></p> <p>本講義はフルオンデマンドで実施されるため、講義室での授業は行わない。また、科目によって受講制限をかける場合がある。なお、教務システム(ドリームキャンパス)の履修登録とは別にe-Learningシステム(LMS)の登録が必要なので、大学連携e-Learning教育支援センター四国ウェブページに掲載している履修登録の手続きをよく読んで、期限内に登録手続きを済ませること。期限内に登録を完了できなかった場合は履修を許可しない。</p> <p>URL: <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p> <p>また、受講方法の詳細については第1回(ガイダンス)で説明しているので必ず視聴すること。各回の授業内容について理解を深めるため、書籍等を用い主体的に学習に努めること。</p> <p><b>【自学自習について】</b></p> <p>各回の授業内容について理解を深めるため、インターネットや書籍等で適宜情報収集に努めること。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課している。しっかり復習してから小テストを受験すること。</p> <p>自学自習(準備学習16時間+事後学習16時間)</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>ガイダンスを除く授業7回分(各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合は、合計得点に関わらず「不可」の評定とする。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学80名・徳島大学14名・鳴門教育大学14名・高知大学14名・愛媛大学14名</p> <p>2018年度以前に「四国の歴史と文化」を単位修得している場合は履修できない。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	* 2018年度以前に「四国の歴史と文化」を単位修得している場合は履修できない。			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。電子メール(rekish1-c@kagawa-u.ac.jp)を利用すること。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	特に設けない。電子メール(rekish1-c@kagawa-u.ac.jp)を利用すること。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	rekishi1-c@kagawa-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	rekishi1-c@kagawa-u.ac.jp		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
40. 教員の実務経験について	無し			<input type="checkbox"/>																																																			

41. バリアフリー対応	無し	<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し	<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 四国の歴史と文化 その2				
	(英文名) History and Culture of Shikoku area second period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 文化編				
	(英文名) Culture				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 渡邊 史郎, 林 敏浩, 藤本 憲市				
	(ローマ字) Watanabe Shiro, Hayashi Toshihiro, Fujimoto Kenichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1～全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	四国の歴史と文化 その 1 歴史編	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	四国の歴史と文化 その1 歴史編
	連携大学 学生向け	四国の歴史と文化 その 1 歴史編		連携大学 学生向け	四国の歴史と文化 その1 歴史編
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	四国 文化 漢文 文学 方言学 / shikoku, culture, chinese classics, literature, dialectology				
21. 授業概要	四国の文化について講義する。各回では、四国に関わる文学作品などに関わるテーマを取り上げる。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	四国の風土や歴史に関わる文学や方言についていくらかの知識を得ることで、自らが暮らす地域につ いて深く知るきっかけをつくることは重要である。本授業での学習を通じて、香川を含む四国地域に関す る知識や関心・意欲を高めるとともに、四国の歴史と文化に関する研究の背景や現状について説明で きるようになることが目的である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 四国地域の文化についてのいくつかのトピックを詳しく説明できる。(共通教育スタンダードの「広範な 人文・社会・自然に関する知識」に対応) 2. 地域の歴史と文化に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる。(共通教育スタンダードの 「地域に関する関心と理解力」に対応) 3. 四国地域の課題を文化的観点からとらえて再考すること出来る。(共通教育スタンダードの「21世紀社 会の諸課題に対する探求能力」に対応)				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	1 ガイダンス、四国の文化に向けて(渡邊史郎/香川大学教育学部) 2 四国の万葉集と古代史(田中省造/四国大学文学部) 3 讃岐における崇徳院と西行の物語——『雨月物語』『白峯』を中心に——(北原圭一郎/香川大学教育学部) 4 石碑の持つ意味——屋島の石碑を題材に——(池田恭哉/香川大学教育学部) 5 物理学者・寺田寅彦の文学(永橋禎子/高知県立文学館) 6 黒島傳治と壺井栄におけるプロレタリア文学の側面(渡邊史郎/香川大学教育学部) 7 愛媛を歩く——方言の旅——(清水史/愛媛大学法文学部) 8 期末レポート(オンライン) ※各回の担当者の所属については、コンテンツ収録当時のものです。		<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課している。しっかり復習してから小テストを受験すること。 自学自習(準備学習10時間+事後学習20時間)  【自学自習のためのアドバイス】 受講方法の詳細については第1回(ガイダンス)で説明しているので必ず視聴すること。 ……7までのコンテンツを視聴したのち、各回の授業内容について理解を深めるため、書籍等を用い主体的に学習に努めること。以下に自学自習のための目安の時間を記すが、これはあくまで目安であって、各自の力量に即して理解を深めて欲しい。 1 ガイダンス、四国の文化に向けて……3時間 2 四国の万葉集と古代史……4時間 3 讃岐における崇徳院と西行の物語……4時間 4 石碑の持つ意味——屋島の石碑を題材に——……4時間 5 物理学者・寺田寅彦の文学……4時間 6 黒島傳治と壺井栄におけるプロレタリア文学の側面……4時間 7 愛媛を歩く——方言の旅——……4時間 8 期末レポート……15時間		<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	授業毎の小テスト(7回:各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合は、合計得点に関わらず「不可」の評定とする。またレポートに剽窃が認められた場合も「不可」となる。		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学80名・徳島大学14名・鳴門教育大学14名・高知大学14名・愛媛大学14名 2018年度以前に「四国の歴史と文化」を単位修得している場合は履修できない。		<input checked="" type="checkbox"/>



<p>31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの</p>	<p>本授業はフルオンデマンドのe-Learning形態で実施するため講義室での対面授業は行わない。詳細は大学連携e-Learning教育支援センター四国ホームページ( <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a> )にある「知プラe科目の履修案内」に記載されているので必ず熟読のこと。</p> <p>本授業を履修するためには、各自パソコンからMoodle(LMS)への登録が必要となる。登録は期限内に完了すること。もし期限内に登録が完了していない場合は履修を許可しない。また、受講方法の詳細については第1回(ガイダンス)で説明しているので必ず視聴すること。</p> <p>各回の授業内容について理解を深めるため、書籍等を用い自主的・主体的に学習に努めること。</p> <p>期末レポートについては、第1回のレポートに関するガイダンスをよく理解して取り組むこと。特にどのようなものが剽窃に当たるかを厳密に理解すること。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>32. 教科書(購入の必要のある図書)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I S B N</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	I S B N		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>33. 教科書・参考書に関する補足情報</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書1</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I S B N</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書2</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I S B N</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書3</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I S B N</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				I S B N		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	I S B N		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	I S B N		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	I S B N		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>34. Webテキスト(URL・説明)</p>	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト  <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p>			<input type="checkbox"/>																																																			
<p>35. パソコン必要度</p>	<p>必要</p>	<p>36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等          ／資格取得該当科目</p>	<p>無し</p>	<input type="checkbox"/>																																																			
<p>37. 教員相互参観授業公開日程</p>				<input type="checkbox"/>																																																			
<p>38. オフィスアワー</p>	<p>自大学 学生向け</p>	<p>特に設けない。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	<p>連携大学 学生向け</p>	<p>特に設けない。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール</p>	<p>自大学 学生向け</p>	<p>rekishi2-c@kagawa-u.ac.jp</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			

	連携大学 学生向け	rekishi2-c@kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験	講師陣に、文学館に勤務する方を迎えているため、地域における文化政策の方向性についても考える ことが出来るだろう。		<input checked="" type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	無し		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 四国の自然環境と防災 その1 (英文名) Natural Environment and Disaster Measures of Shikoku Area, First Period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し (英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 寺尾 徹,林 敏浩,藤本 憲市 (ローマ字) Terao Toru, Hayashi Toshihiro, Kenichi FUJIMOTO				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1～2年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特に無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特に無し
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	特に無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	四国、自然、地質、水資源と気候、海洋 Shikoku Island, Nature, Geology, Water Resource and Climate, Ocean				
21. 授業概要	四国に学び生活しているが、本当に四国のことを知っていると言えるだろうか。何気なく見逃している四 国の自然のすがたを科学することで見えてくる、驚くような自然環境の仕組みを探す旅に出よう。地形が 物語る壮大な四国形成史のドラマ。豪雨地帯と乾燥地帯の同居する島に生きる人々の水資源を求める 知恵のかずかず。瀬戸内の自然環境の魅力と里海再生のとくみ。21世紀の四国を展望するための視 点の数々を提供する講義群である。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	四国地域の自然の特徴と魅力を学ぶことで「地域」を理解し、防災や環境の保全、地域の活性化にも活 かせるようになる。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 地域社会の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる(共通教育スタンダー ドの「地域に関する関心と理解力」に対応)。 2. 四国の自然を地球誌の中にとらえ直す視点の転換を体験する(共通教育スタンダードの「広範な人 文・社会・自然に関する知識」に対応)。 3. 四国の自然から魅力を見出し、地域社会に活かせるようになる(共通教育スタンダードの「21世紀社 会の諸課題に対する探求能力」に対応)。				<input type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1部:四国の自然環境</p> <p>(1)ガイダンス・ため池の歴史 黒川義夫(前香川県農政水産部土地改良課長)</p> <p>(2)四国の河川環境と暮らし・防災 古田昇(徳島文理大学文学部教授)</p> <p>(3)四国の気候と水資源 寺尾徹(香川大学教育学部教授)</p> <p>(4)讃岐の地形と地質の面白さ 長谷川修一(香川大学工学部教授)</p> <p>第2部:瀬戸内海の環境</p> <p>(5)四国の国立公園の魅力 齋藤倫実(環境省高松自然保護官事務所自然保護官)</p> <p>(6)瀬戸内海の浅海環境の抱える問題 多田邦尚(香川大学農学部教授)</p> <p>(7)森里川海を繋ぐ里海づくり 田中文裕(NPO里海づくり研究会議事務局長)</p> <p>(8)期末レポート</p> <p>※授業内容は諸事情により変更になることがあります。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>次回のテーマを念頭に、自分の興味に引き付けて文献、資料等にあたってみよう。e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課しています。しっかり復習してから小テストを受験してください。</p> <p>自学自習(準備学習16時間+事後学習16時間)</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	<p>授業毎の小テスト(7回:各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合は、期末レポートの提出許可を与えない。</p>		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☐
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学200名・徳島大学50名・鳴門教育大学50名・高知大学50名・愛媛大学50名</p> <p>2018年度以前に「四国の自然環境と防災」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるものの	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	<a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa</a> にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要。Moodleの操作ができること。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(shizen-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	電子メール(shizen-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	shizen-c@kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	shizen-c@kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	中央省庁や地方自治体等の実務経験のある教員が、地域の自然環境の保全等に取り組んできた実務経験をもとに、瀬戸内地域の自然環境の考察力を身につけるための教育を行っている。				<input checked="" type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	無し				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	無し				<input type="checkbox"/>	

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 四国の自然環境と防災 その2 (英文名) Natural Environment and Disaster Measures of Shikoku Area, Second Period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し (英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 寺尾 徹,林 敏浩,藤本 憲市 (ローマ字) Terao Toru, Hayashi Toshihiro, Kenichi FUJIMOTO				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1～2年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特に無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特に無し
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	特に無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	四国、自然、地震、防災、環境教育 Shikoku Island, Nature, Earthquake, Disaster Prvention, Environmental Education				
21. 授業概要	四国に学び生活しているが、本当に四国のことを知っていると言えるだろうか。何気なく見逃している四 国の自然のすがたを科学することで見えてくる、驚くような自然環境の仕組みを探す旅に出よう。地球最 大級のプレート境界型地震・東南海・南海地震の危険が迫る太平洋岸。それとたたかおうと立ち上がる 地域の力。自然の営みと人間の関わり方の新たな模索。21世紀の四国を展望するための視点の数々 を提供する講義群である。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	四国地域の自然の特徴と魅力を学ぶことで「地域」を理解し、防災や環境の保全、地域の活性化にも活 かせるようになる。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 地域社会の現状と課題に関心を持ち、自己と関連づけて理解することができる(共通教育スタンダ ードの「地域に関する関心と理解力」に対応)。 2. 四国の自然の循環と災害のメカニズムを正確に理解する(共通教育スタンダードの「広範な人文・社 会・自然に関する知識」に対応)。 3. 四国が直面する豪雨や地震などに伴う災害の脅威に正しく対処できるようになる(共通教育スタン ダードの「21世紀社会の諸課題に対する探求能力」に対応)。				<input type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第3部:災害に備える</p> <p>(1)ガイダンス・子どもぼうさい探検隊を通じた防災教育活動 片岡信彦(日本損保協会)</p> <p>(2)四国の大地の成り立ちから学ぶ自然災害 西山賢一(徳島大学総合科学部准教授)</p> <p>(3)先人の教えに学ぶ—四国防災88話— 松尾裕治(防災教育センター特命教授)</p> <p>(4)災害と交通インフラ—四国の防災対策— 植松真二(国土交通省四国地方整備局総括防災調整官)</p> <p>第4部:持続可能な自然と社会</p> <p>(5)ジオパークは人を幸せにできるのか 柚洞一央(徳山大学経済学部准教授)</p> <p>(6)持続可能な社会づくりのための環境教育① 小林修(愛媛大学国際連携推進機構アジア・アフリカ交流センター・准教授)</p> <p>(7)持続可能な社会づくりのための環境教育② 同上</p> <p>(8)期末レポート</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>次回のテーマを念頭に、自分の興味に引き付けて文献、資料等にあたってみよう。e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課しています。しっかり復習してから小テストを受験してください。</p> <p>自学自習(準備学習16時間+事後学習16時間)</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	<p>授業毎の小テスト(7回:各6点満点)と期末レポート課題(1回:58点満点)の合計得点が60点以上を合格とする。ただし、小テストの未受験数が3回以上の場合は、期末レポートの提出許可を与えない。</p>		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☐
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学200名・徳島大学50名・鳴門教育大学50名・高知大学50名・愛媛大学50名</p> <p>2018年度以前に「四国の自然環境と防災」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	<a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa</a> にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要。Moodleの操作ができること。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(shizen-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	電子メール(shizen-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	shizen-c@kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	shizen-c@kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	中央省庁や地方自治体、民間団体等の実務経験のある教員が、地域の防災等に取り組んできた実務経験をもとに、瀬戸内地域の防災に係わる考察力を身につけるための教育を行っている。				<input checked="" type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	無し				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	無し				<input type="checkbox"/>	



## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科 ※香川大学生は履修制限あり		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	主題科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 四国の地域振興 その1				
	(英文名) Local Development of Shikoku Area first period				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩、藤本 憲市				
	(ローマ字) Toshihiro Hayashi, Ken'ichi Fujimoto				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必修区分／単位区分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	四国の地域振興 その2
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	四国の地域振興 その2
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	四国、地域振興、地場産業、地方制度／Shikoku, Local Development, Local Industry, Local Systems				
21. 授業概要	四国における地域振興の取組みを以下の側面から講義します。第1は、産業です。各県の代表的な地場産業が地域の中で果たしている役割や活性化策について考えます。第2は、交流や文化振興による地域づくりです。瀬戸内国際芸術祭などが事例に取り上げられます。第3は、地方制度です。近年の地方分権改革との関わりで各県の将来像を考えます。これらを通して私たちが居住する四国という地域社会への理解と関心を培い、地域活性化への道を探るという観点で授業を実施します。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	地場産業、地方分権改革、文化・観光といった観点から四国地域の現状を理解し地域活性化に関する実践的関心を培うことができるようになる。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 地域社会の現状と課題に関心をもち、自己と関連づけて理解することができる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「地域に関する感心と理解力」に対応)。 2. 地場産業、地方分権改革、文化・観光といった観点から四国地域の現状認識や地域活性化に関して概要を説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「地域に関する感心と理解力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>講義コンテンツの全面的な更新を計画しているため、一部の授業回の内容が変更になる場合がある。その場合、第1回目のガイダンスで説明するので注意されたい。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <p>(1)ガイダンス～四国の地域振興 その1で何を学ぶか?～  (2)讃岐のハマチ養殖と野網和三郎 (嶋野勝路(全国海水養魚協会会長))  (3)讃岐うどん (香川政明(さぬき麺業社長))  (4)香川の手袋産業 (原直行(香川大学))  (5)香川の石材産業 (西成典久(香川大学))  (6)高知の林業と製造業 (石筒覚・霜田博史(高知大学))  (7)四万十の今と昔 (原直行(香川大学))  (8)動画による地域のPR (林敏浩(香川大学))</p> <p>※上記に加えて最終課題がありますので注意ください。  ※担当教員の所属はコンテンツ収録時のものです。</p> <p><b>【学習の方法】</b></p> <p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS (Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	<p>各回の課題(8回:各最高10点)と最終課題(1回:最高20点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大8回)が5回未満の場合は得点に関わらず不可とする。</p>		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:無し</p> <p>2018年度以前に「四国の地域振興」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑

<p>31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの</p>	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからLMS (Learning Management System) にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。本授業を履修するには、各自でパソコンからのLMSへの登録やコース登録が必要となるが、所定の日(詳細はガイダンス等を参照)までに登録が完了していない場合は履修を許可しない。教材を視聴する際は、話のポイントノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を視聴すること。</p> <p>締切間際で提出される課題にファイル名の不備やファイルそのもの間違いが多発しており、課題が受理できないケースも多くなっています。締切後の再提出は認めていませんので、よく確認して余裕を持って課題提出ください。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>32. 教科書(購入の必要のある図書)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>33. 教科書・参考書に関する補足情報</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>34. Webテキスト(URL・説明)</p>	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト  <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p>			<input type="checkbox"/>																																																			
<p>35. パソコン必要度</p>	<p>必要</p>	<p>36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目</p>	<p>無し</p>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>37. 教員相互参観授業公開日程</p>				<input type="checkbox"/>																																																			
<p>38. オフィスアワー</p>	<p>自大学 学生向け</p>	<p>日時: 金曜1時限目          場所: 幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室          不在時は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	<p>連携大学 学生向け</p>	<p>(zoom等web会議システムで対応できる場合のみ)</p>		<input type="checkbox"/>																																																			

39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験	無し		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	無し		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科 ※香川大学生は履修制限あり		4. 授業形態／授業種別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科目分野／科目区分／区分等	主題科目		6. DPコード／分野コード／科目ナンバリング	ecbG	
7. 科目名／科目英文名／英文併記	(日本語名) 四国の地域振興 その2				
	(英文名) Local Development of Shikoku Area second period				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩、藤本 憲市				
	(ローマ字) Toshihiro Hayashi, Ken'ichi Fujimoto				
10. 時間割コード／申請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必修区分／単位区分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科目コード番号)	自大学 学生向け	四国の地域振興 その1
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	四国の地域振興 その1
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ以上5つ以下)	四国、地域振興、地場産業、地方制度／Shikoku, Local Development, Local Industry, Local Systems				
21. 授業概要	四国における地域振興の取組みを以下の側面から講義します。第1は、産業です。各県の代表的な地場産業が地域の中で果たしている役割や活性化策について考えます。第2は、交流や文化振興による地域づくりです。瀬戸内国際芸術祭などが事例に取り上げられます。第3は、地方制度です。近年の地方分権改革との関わりで各県の将来像を考えます。これらを通して私たちが居住する四国という地域社会への理解と関心を培い、地域活性化への道を探るという観点で授業を実施します。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	地場産業、地方分権改革、文化・観光といった観点から四国地域の現状を理解し地域活性化に関する実践的関心を培うことができるようになる。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 地域社会の現状と課題に関心をもち、自己と関連づけて理解することができる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「地域に関する感心と理解力」に対応)。 2. 地場産業、地方分権改革、文化・観光といった観点から四国地域の現状認識や地域活性化に関して概要を説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「地域に関する感心と理解力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>講義コンテンツの全面的な更新を計画しているため、一部の授業回の内容が変更になる場合がある。その場合、第1回目のガイダンスで説明するので注意されたい。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <p>(1)ガイダンス～四国の地域振興 その2で何を学ぶか?～  (2)文化力とまちづくり (竹内守善(香川大学非常勤講師))  (3)地域振興とメディア (林敏浩(香川大学))  (4)アートとエコツーリズム (石井亨(香川大学非常勤講師))  (5)共同体の崩壊 (石井亨(香川大学非常勤講師))  (6)四国四県の政治経済の歴史 (八幡和郎(徳島文理大学))  (7)地域へのイベント誘致 (林敏浩(香川大学))  (8)コロナ禍と地域 (林敏浩(香川大学))</p> <p>※上記に加えて最終課題がありますので注意ください。  ※担当教員の所属はコンテンツ収録時のものです。</p> <p><b>【学習の方法】</b></p> <p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS (Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	<p>各回の課題(8回:各最高10点)と最終課題(1回:最高20点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大8回)が5回未満の場合は得点に関わらず不可とする。</p>		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:無し</p> <p>2018年度以前に「四国の地域振興」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑

<p>31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの</p>	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからLMS (Learning Management System) にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。本授業を履修するには、各自でパソコンからのLMSへの登録やコース登録が必要となるが、所定の日(詳細はガイダンス等を参照)までに登録が完了していない場合は履修を許可しない。教材を視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を視聴すること。</p> <p>締切間際で提出される課題にファイル名の不備やファイルそのもの間違いが多発しており、課題が受理できないケースも多くなっています。締切後の再提出は認めていませんので、よく確認して余裕を持って課題提出ください。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>32. 教科書(購入の必要のある図書)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>33. 教科書・参考書に関する補足情報</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>34. Webテキスト(URL・説明)</p>	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト  <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p>			<input type="checkbox"/>																																																			
<p>35. パソコン必要度</p>	<p>必要</p>	<p>36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目</p>	<p>無し</p>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>37. 教員相互参観授業公開日程</p>				<input type="checkbox"/>																																																			
<p>38. オフィスアワー</p>	<p>自大学 学生向け</p>	<p>日時: 金曜1時限目          場所: 幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室          不在時は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	<p>連携大学 学生向け</p>	<p>(zoom等web会議システムで対応できる場合のみ)</p>		<input type="checkbox"/>																																																			

39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験	無し		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	無し		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂



## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	前期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	cxxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) コンピュータと教育 その1				
	(英文名) Computers in Education first period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩				
	(ローマ字) Toshihiro Hayashi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	コンピュータと教育 その2
	連携大学 学生向け	無し		連携大 学 学生向け	コンピュータと教育 その2
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	情報通信技術, CAI, e-Learning, 教育システム／ICT, CAI, e-Learning, Educational Systems				
21. 授業概要	近年、情報通信技術(ICT)を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。なお、7,8回目は教育システム研究などの動向により予定と異なる内容になる場合がある。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	ICTを利活用する教育環境を単に利用者(学習者)として利用するだけではなく、これまでにはなかった21世紀型の新しい教育環境の特徴を深く理解するため、本講義で、近年発展してきたe-Learningなど情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習から、コンピュータと教育について学習する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	(1)教育・学習方法の概要を説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。 (2)(1)を支える情報通信技術を説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。 (3)教育・学習支援システムにどのようなものがあるか概説できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p><b>【授業計画】</b></p> <p>第1回目: 講義ガイダンス、「コンピュータと教育 その1」の講義で何を学ぶか？</p> <p>第2回目: e-Learningでいかに学ぶか？</p> <p>第3回目: 遠隔講義でいかに学ぶか？</p> <p>第4回目: ICTを活用した教育・学習支援(1): CAI(Computer Assisted Instruction)概説</p> <p>第5回目: ICTを活用した教育・学習支援(2): CAIシステムの歴史と新しい教育システム</p> <p>第6回目: ICTを活用した教育・学習支援(3): 知的CAI概説</p> <p>第7回目: 四国におけるe-Learningによる教育連携</p> <p>第8回目: 新しい時代のe-Learning</p> <p>※上記に加えて最終課題がありますのでご注意ください。</p> <p>※コンテンツ更新に伴い、内容などに変更が生じた場合は、第1回目の講義ガイダンスで説明します。</p> <p><b>【学習の方法】</b></p> <p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS (Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	<p>各回の課題(8回:各最高10点)と最終課題(1回:最高20点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大8回)が5回未満の場合は得点に関わらず不可とする。</p>		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:無し</p> <p>2018年度以前に「コンピュータと教育」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑

<p>31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの</p>	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>締切間際で提出される課題にファイル名の不備やファイルそのもの間違いが多発しており、課題が受理できないケースも多くなっています。締切後の再提出は認めていませんので、よく確認して余裕を持って課題提出ください。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>32. 教科書(購入の必要のある図書)</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>33. 教科書・参考書に関する補足情報</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
<p>34. Webテキスト(URL・説明)</p>	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト  <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a></p>			<input type="checkbox"/>																																																			
<p>35. パソコン必要度</p>	<p>必要</p>	<p>36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目</p>	<p>無し</p>	<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
<p>37. 教員相互参観授業公開日程</p>				<input type="checkbox"/>																																																			
<p>38. オフィスアワー</p>	<p>自大学 学生向け</p>	<p>日時: 金曜1時限目          場所: 幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室          不在時は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	<p>連携大学 学生向け</p>	<p>(zoom等web会議システムで対応できる場合のみ)</p>		<input type="checkbox"/>																																																			
<p>39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール</p>	<p>自大学 学生向け</p>	<p>不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	<p>連携大学 学生向け</p>	<p>電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			

40. 教員の実務経験	無し	<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	電子テキスト型コンテンツ(音声読み上げソフト対応)	<input checked="" type="checkbox"/>
42. その他/備考	無し	<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部全学科		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	cxxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) コンピュータと教育 その2				
	(英文名) Computers in Education second period				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 林 敏浩				
	(ローマ字) Toshihiro Hayashi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～2年	
16. 曜日・時限	指定無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	コンピュータと教育 その1
	連携大学 学生向け	無し		連携大学 学生向け	コンピュータと教育 その1
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	情報通信技術, CAI, e-Learning, 教育システム／ICT, CAI, e-Learning, Educational Systems				
21. 授業概要	近年、情報通信技術(ICT)を活用した教育が様々な教育機関で実施されるようになってきた。また、予習・復習などの自宅等における学習者主体の学習にもICTの利用が増えてきている。本講義ではこのような情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習、それらを支える教育・学習システムについて講義する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	ICTを利活用する教育環境を単に利用者(学習者)として利用するだけではなく、これまでにはなかった21世紀型の新しい教育環境の特徴を深く理解するため、本講義で、近年発展してきたe-Learningなど情報通信技術(ICT)を活用した教育・学習から、コンピュータと教育について学習する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	(1)教育・学習支援システムにどのようなものがあるか説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。 (2)支援システムの活用事例などを説明できる(香川大学の場合、共通教育スタンダードの「21世紀社会の諸問題に対する探究能力」に対応)。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p><b>【授業計画】</b></p> <p>第1回目: 講義ガイダンス、「コンピュータと教育 その2」の講義で何を学ぶか?</p> <p>第2回目: 教育・学習支援システム(1): フレーム型システム</p> <p>第3回目: 教育・学習支援システム(2): ドリル&amp;プラクティス型CAIシステム</p> <p>第4回目: 教育・学習支援システム(3): ゲーム&amp;シミュレーション型システム</p> <p>第5回目: 教育・学習支援システム(4): アドリブ型・情報検索型・質問応答型システム</p> <p>第6回目: 高度教育・学習支援システム(1): 知的CAIシステム</p> <p>第7回目: 高度教育・学習支援システム(2): いろいろな高度教育システム</p> <p>第8回目: 高度教育・学習支援システム(3): 協調学習支援システム</p> <p>※上記に加えて最終課題がありますのでご注意ください。</p> <p>※コンテンツ更新に伴い、内容などに変更が生じた場合は、第1回目の講義ガイダンスで説明します。</p> <p><b>【学習の方法】</b></p> <p>e-Learningによる非同期型授業として実施する。受講はインターネットに接続できるパソコンでLMS (Learning Management System)にアクセスして、e-Learningコンテンツを視聴する形態になる。出席確認も兼ねて各回で理解度を判定する課題を課す。</p>		☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)</p>		☑
28. 成績評価の方法と基準	<p>各回の課題(8回:各最高10点)と最終課題(1回:最高20点)を採点して合計した得点が60点以上を合格とする。なお、各回の課題の提出回数(最大8回)が5回未満の場合は得点に関わらず不可とする。</p>		☑
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	☑
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:無し</p> <p>2018年度以前に「コンピュータと教育」を単位修得している場合は履修できない。</p>		☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>e-Learningは基本的には自学自習ですので計画的な履修(コンテンツ視聴、オンラインレポート提出)を心がけてください。e-Learningの落とし穴に落ち込まないようにしてください。</p> <p>各回で課題を課していますので、コンテンツ視聴後、課題を必ず回答してLMSでオンライン提出ください。</p> <p>締切間際で提出される課題にファイル名の不備やファイルそのもの間違いが多発しており、課題が受理できないケースも多くなっています。締切後の再提出は認めていませんので、よく確認して余裕を持って課題提出ください。</p>		☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		<input checked="" type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	日時: 金曜1時限目 場所: 幸町北キャンパス研究交流棟4階教員室 不在時は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(zoom等web会議システムで対応できる場合のみ)			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	不在時あるいは対面が困難な場合は電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	電子メール(hayashi.toshihiro@kagawa-u.ac.jp)を活用されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験	無し				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	電子テキスト型コンテンツ(音声読み上げソフト対応)				<input checked="" type="checkbox"/>	
42. その他／備考	無し				<input type="checkbox"/>	





## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	cbeG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 人工魚礁の開発と環境保全 (英文名) Development of Artificial Reefs and Environmental Conservation				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し (英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 末永 慶寛 (ローマ字) Suenaga Yoshihiro				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1～3年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2・3年次／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特に無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特に無し
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	特に無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	人工魚礁, 流動制御, 環境改善, 資源生産力 Artificial Reef, Current Control, Environmental Improvement, Resources Productivity				
21. 授業概要	我が国沿岸海域における水産資源生産力の向上のための施設として、様々な人工魚礁が開発されてきた。本講義では、人工魚礁開発の歴史と人工魚礁の有すべき水産資源生産力向上および環境改善機能について、実海域における具体例を挙げながら解説する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	主に瀬戸内海を中心として、人工魚礁の開発にまつわる歴史、求められる機能、設計コンセプトおよび実海域における生物資源増大に資する効果に関する知識を得ることが本授業の目的である。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	本講義を受講することにより、以下の項目を説明できる。 1.人工魚礁の歴史、役割 2.人工魚礁の流動制御機能 3.人工魚礁の実海域における生物資源生産力向上効果 4.地場産業との共同研究による技術の実用化 5.SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>※授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス(授業内容の概要説明を含む)、人工魚礁開発の歴史</li> <li>2. 人工魚礁の安定性</li> <li>3. 人工魚礁の流動制御機能</li> <li>4. 人工魚礁の生物蛸集機能</li> <li>5. 人工魚礁の藻場造成機能</li> <li>6. 人工魚礁の環境改善機能</li> <li>7. 大学と地場産業との連携による実用化の事例</li> <li>8. 期末レポート</li> </ol>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を判定するための小テストを課しています。しっかり復習してから小テストを受験してください。</p> <p>自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)</p>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
28. 成績評価の方法と基準	<p>4回の小テストを計40点満点、期末レポートを60点満点で評価し、合計60点以上を合格とする。なお、小テストの受験(提出)回数が3回未満の場合は、期末レポートの提出資格を与えない。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し			<input checked="" type="checkbox"/>																	
	連携大学学生向け	無し																				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学200名・徳島大学50名・鳴門教育大学50名・高知大学50名・愛媛大学50名</p>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。</p>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 20%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
教科書1	書名																					
	ISBN		著者名																			
	出版社		出版年																			
	金額		備考																			

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	閉鎖生態系・生態工学ハンドブック			☑
		ISBN	978-4-904419-57-1	著者名	大政, 竹内, 末永, 菊池ら	
		出版社	丸善出版	出版年	2015	
		金額	¥5,060(税込)	備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	<a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa</a> にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				☑	
35. パソコン必要度	必要。Moodleの操作ができること。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	☑		
37. 教員相互参観授業公開日程					☐	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(suenaga.yoshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			☑	
	連携大学 学生向け	電子メール(suenaga.yoshihiro@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			☑	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	suenaga.yoshihiro@kagawa-u.ac.jp			☑	
	連携大学 学生向け	suenaga.yoshihiro@kagawa-u.ac.jp			☑	
40. 教員の実務経験	建設業, コンサルティング, サービス業等の実務経験を有し, その経験を活かして構造物の設計, 施工, 環境影響評価および実用化に至る「ものづくり」の基礎を教育している。				☑	
41. バリアフリー対応	無し				☐	
42. その他／備考	無し				☐	

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	cbdG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 高度情報化社会の歩き方 (英文名) Way of Walking on Advanced Information Society				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し (英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 後藤田 中, 藤本 憲市 (ローマ字) Gotoda Naka, Fujimoto Ken'ichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1～2年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特に無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特に無し
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	特に無し
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	高度情報化社会, 人工知能, 技術的特異点, セキュリティ Advanced Information Society, Artificial Intelligence, Singularity, Security				
21. 授業概要	高度情報化に伴い, 我々の身の回りの社会環境は, 益々創造的で豊かになっている. AIやIoTといった テクノロジーが進化し, 我々の生活に溶け込み, “便利な”サービスの根幹をなし始めている. 一方で 我々の生活が豊かになる反面, 見落としがちな諸問題も生まれ始めている. この授業では, 高度情報 化社会に伴う我々の社会環境における現在, そして今後の予測に対し, 光と影, それぞれの一端を紹 介し, 人と情報がどのように接すれば, より豊かな生活を実現できるか学ぶ.				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	高度情報化社会の特徴としてみられる, 様々なテクノロジーの特徴を知識として獲得し, そのテクノロジ ーから生まれるサービスの利用例, また注意すべき点を理解することが本授業の目的である.				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	以下の項目を説明できる. 1. DX推進の状況と社会に社会環境の変化 2. AIがもたらす可能性と社会的諸問題(例: 雇用喪失, 著作権, プライバシー) 3. ネットワークにつながる便利さと注意点(例: セキュリティ)				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>【授業計画】</p> <p>※授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本におけるDX推進</li> <li>2. DX推進と雇用の変革</li> <li>3. DX推進によるセキュリティの脅威</li> <li>4. あなたの身を守るために</li> <li>5. AIと著作権</li> <li>6. データ活用の推進と落とし穴</li> <li>7. データマネージメント</li> <li>8. 期末レポート</li> </ol>			<input checked="" type="checkbox"/>		
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>e-Learningコンテンツの視聴確認も兼ねて、各回において知識定着度を確認するためのレポートを課しています。ビデオ視聴だけでなく、自ら調査を行い、レポート内容にも反映してください。</p> <p>自学自習(事前学習9時間+事後学習21時間)</p>			<input checked="" type="checkbox"/>		
28. 成績評価の方法と基準	<p>7回の小テスト(50点)と期末レポート(50点)により評価し、合計60点以上を合格とする。なお、小テストの提出回数が5回未満の場合は、期末レポートの提出資格を与えない。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>		
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し		<input type="checkbox"/>		
	連携大学学生向け	無し				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学100名・徳島大学50名・鳴門教育大学50名・高知大学50名・愛媛大学50名</p>			<input type="checkbox"/>		
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>		
32. 教科書(購入の必要のある図書)						
	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		I S B N		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	<a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa</a> にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	無し	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	担当回教員の電子メールを利用し、随時問い合わせてください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Zoom等webで対応できる場合のみ) 担当回教員の電子メールを利用し、随時問い合わせてください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	(後藤田) gotoda.naka@kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(藤本) fujimoto.kenichi@kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験	本科目は、DX、セキュリティおよびAI活用といった実践的技術者教育に係る実務経験を有する教員2名(後藤田、藤本)が、専門分野の知見を活用した講義コンテンツを情報関連企業とも連携しながら設計・構築し、実践的教育を実施するものである。				<input checked="" type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	無し				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	無し				<input type="checkbox"/>	

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期前半		
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング		
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	ceaG		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) データ活用とオープンイノベーションで創る未来のまちづくり					
	(英文名) Data driven and Open innovative solutions for future community creation					
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し					
	(英文名) 無し					
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 米谷 雄介					
	(ローマ字) Kometani Yusuke					
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜			
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し		
14. 対象学生	1～4年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～4年次／全学部		
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室			
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特に無し	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	特に無し	
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	特に無し	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	スマートシティ, まちづくり, データ活用, Business Intelligence, オープンイノベーション Smart City, Community Creation, Data Utilization, Business Intelligence, Open Innovation					
21. 授業概要	<p>スマートシティは新たなまちづくりのモデルである。従来のインフラ中心からICT・IoTに基づくデータ活用中心、言い換えるとハードウェア／サプライヤ中心からソフトウェア／ユーザ中心のまちづくりへの転換である。この新たなまちづくりのモデルの特徴は、異業種・異分野の協働を基本(分野横断型)とし、社会課題の解決を中心に据え(課題解決型)、サービスの利用実績によりサービスは進化していき(進化型)、そして、自分たちの使う公共サービスは自分たちで創るというDIY思想(市民中心設計)となっている。近年様々な基礎自治体においてスマートシティに向けた動きがあるが、スマートシティの推進を担う人材の育成が課題となっている。そこで、本授業は、スマートシティの推進に必要な素養の獲得を支援する。受講者は、データ活用技術やオープンイノベーションの考え方を知り、活用することを経験する。香川におけるケーススタディを通じて自分たちの地域のあり方を見直し、地域の課題解決に資するデータ活用サービスを考案する態度を獲得する。</p>					<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	本授業の目的は、スマートシティを担う人材に必要なデータ活用技術およびオープンイノベーションの考え方を理解し、体得することを目的とする。					<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<p>以下の知識を説明できる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スマートシティとは何であり、なぜ必要であるか？</li> <li>2. オープンイノベーションとは何であり、なぜ必要であるか？</li> </ol> <p>以下の行動ができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 香川大学が開発したICT・IoTツールを用いてデータ活用サービスのプロトタイプを作成できる</li> </ol>					<input checked="" type="checkbox"/>

	<p>2. 異業種・異分野の他者とのアイデア交換を通じて自分なりにデータ活用サービスを考案できる</p> <p>3. 地域のニーズを理解し、本当に必要とするサービスを考案できる</p>	
<p>24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）</p>		
<p>25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）</p>		
<p>26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法</p>	<p><b>【授業計画】</b></p> <p>※授業内容は変更になる可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス, 開発環境の準備(クラウド開発環境、APIの理解)</li> <li>2. オープンデータの可視化、APIインテグレーション</li> <li>3. 移動体データの可視化</li> <li>4. 物理センサーデータの可視化</li> <li>5. AIカメラ・センサーデータの可視化</li> <li>6. IoT(Internet of Things)の構築</li> <li>7. オープンイノベーションとデータ活用サービスデザイン</li> <li>8. 期末レポート(アイデアソン)</li> </ol>	<input checked="" type="checkbox"/>
<p>27. 授業時間外学習にかかわる情報</p>	<p><b>【自主学習のためのアドバイス】</b></p> <p>■第1回 ガイダンス, 開発環境の準備(クラウド開発環境、APIの理解)</p> <p>準備学習(1時間): シラバスに登場する専門用語を調べる、事後学習(2時間): 授業に従いクラウド開発環境を準備する</p> <p>第2回 オープンデータの可視化、APIインテグレーション</p> <p>準備学習(2時間): オープンデータ、APIの目的や具体例を調べる、事後学習(2時間): 授業に従いオープンデータを可視化する</p> <p>第3回 移動体データの可視化</p> <p>準備学習(2時間): Mobility as a Serviceなど移動体データを利用したサービスを調べる、事後学習(2時間): 授業に従い、移動体データを可視化する</p> <p>第4回 物理センサーデータの可視化</p> <p>準備学習(2時間): 温度センサー、光センサーなどセンサーの具体的な活用例を調べる、事後学習(2時間): 授業に従い、センサーに遠隔からアクセスしてみる</p> <p>第5回 AIカメラ・センサーデータの可視化</p> <p>準備学習(2時間): AIカメラセンサーの具体的な活用例を調べる、事後学習(2時間): 授業に従い、センサーに遠隔からアクセスしてみる</p> <p>第6回 IoT(Internet of Things)の構築</p> <p>準備学習(2時間): IoTの具体的な活用事例を調べる、事後学習(2時間): 授業に従い、IoTを構築してみる</p> <p>第7回 オープンイノベーションとデータ活用サービスデザイン</p> <p>準備学習(2時間): オープンイノベーションやサービスデザインという用語を調べる、事後学習(2時間):</p>	<input checked="" type="checkbox"/>



	授業に従い、これまでのデータ収集／可視化手段を振り返り、サービスのアイデアを考える 第8回 期末レポート(アイデアソン) 準備学習(2時間):サービスのアイデアをレポートの形にまとめる、事後学習(1時間):これまでの授業を振り返り、自分の関心のある地域課題について考え、今後受講する授業を決める 自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)					
28. 成績評価の方法と基準	1~6回の小レポート(70点)と、7回~8回の期末レポート(30点)により評価し、合計60点以上を合格とします。なお、小レポートを未提出の場合は、期末レポートの提出資格を与えません。		<input checked="" type="checkbox"/>			
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	<input type="checkbox"/>			
	連携大学学生向け	無し				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学10名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名		<input type="checkbox"/>			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	第1回目から第8回目までの受講はすべて、インターネットに接続できるパソコンからMoodleとよばれるLMS(Learning Management System)にアクセスしてe-Learningコンテンツを視聴する形態となる。動画コンテンツを視聴する際は、話のポイントをノートに書き取るなど、主体的な学習態度を心がけること。その他受講方法の詳細については、第1回(ガイダンス)を参照されたい。		<input checked="" type="checkbox"/>			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名		<input type="checkbox"/>		
		ISBN			著者名	
		出版社			出版年	
		金額			備考	
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名		<input type="checkbox"/>		
		ISBN			著者名	
		出版社			出版年	
		金額			備考	
	参考書2	書名				
		ISBN			著者名	
		出版社			出版年	
		金額			備考	
	参考書3	書名				
		ISBN			著者名	
		出版社			出版年	
		金額			備考	
34. Webテキスト(URL・説明)	<a href="https://chipla-e.ucl.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa">https://chipla-e.ucl.kagawa-u.ac.jp/subject_kagawa.html#subject_kagawa</a> にある「香川大学のLMSへ移動」ボタンから辿ることができます。 大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucl.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucl.kagawa-u.ac.jp/</a>		<input checked="" type="checkbox"/>			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等	無し	<input type="checkbox"/>		

		／資格取得該当科目	
37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	担当回教員の電子メールを利用し、随時問い合わせてください。	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	担当回教員の電子メールを利用し、随時問い合わせてください。	<input checked="" type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	(米谷) kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(米谷) kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp	<input checked="" type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験	本科目は、データ活用プラットフォームやデータ可視化技術に係る実務経験を有する教員が、専門分野の知見を活用した講義コンテンツを使用して実践的教育を実施するものである。		<input checked="" type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	無し		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し		<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	cxxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) データサイエンスを活用した防災・危機管理 (英文名) Disaster mitigation and crisis management using data science				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し (英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 野々村 敦子 (ローマ字) Nonomura Atsuko				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1～2年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	情報リテラシーB	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	レジリエントな社会の構築 とコンピューターシミュレー ション  災害とデータサイエンス
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	レジリエントな社会の構築 とコンピューターシミュレー ション  災害とデータサイエンス
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	データサイエンス、防災・減災、危機管理 Data Science, Disaster mitigation, Crisis management				
21. 授業概要	日本は地震や台風など大きな自然災害による被害を受けている。環境変化により従来にない大規模自然災害が発生する可能性が高まり、さらには社会システムの高度化・複雑化・国際化にともない、これまでにない災害が発生する危険性も増大している。いま、自然・人為的な災害に対応可能なレジリエント(しなやか)な社会の構築が求められている。本講義では、自然災害の軽減を念頭にデータサイエンスによる防災・危機管理のあり方と、地域における災害に対する安全・安心について担当教員がそれぞれの専門分野から説明する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	レジリエント(しなやか)な社会の構築に向け、防災・危機管理分野におけるデータサイエンスの活用法を学び、さらに、データサイエンスに立脚した地域の安全・安心を議論できるようになる。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. レジリエント(しなやか)な社会とは何かを説明できる。 2. 防災・危機管理分野におけるデータサイエンスの活用法を説明できる。 3. 地域における災害に対する安全・安心を、自分の言葉で説明できる。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1週 強非線形現象に対する推移予測研究の試み</p> <p>第2週 地球温暖化に伴う気候変動の検出とそのリスクの見積りに係わるビッグデータ解析</p> <p>第3週 ビッグデータを用いた地球温暖化にともなう現在気候に対する将来気候の評価</p> <p>第4週 移動体・画像解析技術による災害復旧過程の分析</p> <p>第5週 流量予測への深層学習の適用と豪雨災害リスクの評価</p> <p>第6週 データサイエンスを活用した防災・危機管理 ～地形情報の活用 基礎編～</p> <p>第7週 データサイエンスを活用した防災・危機管理 ～地形情報の活用 実践編～</p> <p>第8週 まとめ</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>毎週のコメントシートの作成に関しては、地域における災害に対する安全・安心に結びつけるためにもどのような能力が必要か、文献等で事前に調べるなどして、独自の考えも展開するようにしてください。</p> <p>自学自習(準備学習16時間+事後学習16時間)</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>第1週 強非線形現象について他の事例を調べて理解を深める(5時間)</p> <p>第2～3週 地球温暖化対策の経緯とこれまでに行われてきた対策についても学び理解を深める(10時間)</p> <p>第4～5週 災害からの復旧復興について事例を調べて理解を深めて災害リスク把握の意義を考える(10時間)</p> <p>第6～7週 講義で取り上げた地域以外でも地形情報の活用を実践する(10時間)</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	<p>コメントシート50点(到達目標1、2、3に対応)+小テスト50点(到達目標1、2、3に対応)により評価し、60点以上の評価により合格とする。</p> <p>なお、期末試験は実施しない。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け	無し	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	無し	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学60名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>e-Learningコンテンツの視聴及び出席確認も兼ねて、授業で学んだ内容を毎週コメントシートにまとめてもらいます。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-data-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-data-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-data-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-data-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験	無し				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	無し				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	無し				<input type="checkbox"/>	



## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング	cbdG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) レジリエントな社会の構築とコンピューターシミュレーション (英文名) Building a resilience society and computer simulation				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し (英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 吉田 秀典 (ローマ字) Yoshida Hidenori				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1～2年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	情報リテラシーB	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	データサイエンスを活用し た防災・危機管理  災害とデータサイエンス
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	データサイエンスを活用し た防災・危機管理  災害とデータサイエンス
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	データサイエンス、レジリエンス、コンピューターシミュレーション Data Science, Resilience, Computer simulation				
21. 授業概要	コンピューターシミュレーションは、「第3の科学」とも言われ、自然科学、工学、経済学、社会科学における理論・システムを数理モデルで表現し、コンピュータを用いて仮想実験や事象予測を行う技術である。今日では、製造業における工業製品の設計や新規材料の開発、自然現象の解明による災害対策、社会インフラ整備のための構造物設計・安全評価、金融・ビジネスにおけるマーケティングなど多様な分野において欠かすことができない。とりわけ、ビッグデータとAIなどの数理技術との融合により、製品の設計・製造プロセスの最適化、公共インフラの維持と保安水準の向上、津波・地震等の災害予測精度の向上、安価かつ環境性の高い電力・エネルギー製造と供給、テラーメイド医療・予防サービス普及による医療費削減など、幅広い分野において新しい価値を創造することが期待されている。本講義では、レジリエントな(強靱化)社会構築におけるコンピューターシミュレーション活用事例を挙げ、その重要性について担当教員がそれぞれの専門分野の立場から説明する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	レジリエントな(強靱化)社会構築におけるコンピューターシミュレーションの活用法を学び、さらに、コンピューターシミュレーションの援用による地域の安全・安心を議論できるようになる。				<input checked="" type="checkbox"/>

23. 授業の到達目標／学修課題	<p>1. レジリエントな(強靱化)社会とは何かを説明できる。</p> <p>2. レジリエントな(強靱化)社会構築におけるコンピューターシミュレーションの活用法を説明できる。</p> <p>3. コンピューターシミュレーションの援用による地域の安全・安心を、自分の言葉で説明できる。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)						
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1週 AI等を用いた社会インフラのヘルスチェック</p> <p>第2週 大規模シミュレーションが可能とする社会インフラの長寿命化</p> <p>第3週 振動シミュレーションに基づく建築物の安全性評価</p> <p>第4週 地盤モデルを用いた地盤震動シミュレーション</p> <p>第5週 震源モデルを用いた強震動シミュレーション</p> <p>第6週 都市モデルを活用した高潮／津波／ため池氾濫シミュレーション</p> <p>第7週 都市モデルを活用した広域避難シミュレーションと復興政策の検討</p> <p>第8週 まとめ</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>自学自習(準備学習16時間+事後学習16時間)</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>毎週のコメントシートの作成に関しては、コンピューターシミュレーションの援用による地域の安全・安心の重要性等について、文献等事前に調べるなどして、独自の考えも展開するようにしてください。特に、以下に留意して学習してください。なお、括弧内は、自学自習時間の目安です。</p> <p>第1週 社会インフラにおけるヘルスチェックの事例を調べて理解を深める(5時間)</p> <p>第2週 社会インフラの長寿命化の意義を考える(5時間)</p> <p>第3週 建築物の安全性評価の重要性について考える(5時間)</p> <p>第4週 地盤震動におけるシミュレーションの必要性について考える(5時間)</p> <p>第5週 地震学／地震工学におけるシミュレーションの必要性について考える(5時間)</p> <p>第6週 高潮／津波／ため池の氾濫におけるシミュレーションの意義について考える(5時間)</p> <p>第7週 災害時の避難に関する課題点を調べ、その解決方法について自身なりの考えをまとめる(5時間)</p> <p>第8週 レジリエントな社会の構築に関して、講義で取り上げた以外の事案についても、どのようにシミュレーションが活用されているのかを調べ、その意義、必要性、重要性について理解を深める(2.5時間)</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
28. 成績評価の方法と基準	<p>コメントシート50点(到達目標1、2、3に対応)+小テスト50点(到達目標1、2、3に対応)により評価し、60点以上の評価により合格とする。</p> <p>なお、期末試験は実施しない。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				
29. 再試験の有無	<table border="1" data-bbox="357 1939 587 2040"> <tr> <td data-bbox="357 1939 587 1989">自大学学生向け</td> <td data-bbox="587 1939 1425 1989">無し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="357 1989 587 2040">連携大学学生向け</td> <td data-bbox="587 1989 1425 2040">無し</td> </tr> </table>	自大学学生向け	無し	連携大学学生向け	無し	<input type="checkbox"/>
自大学学生向け	無し					
連携大学学生向け	無し					
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学60名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名</p>	<input checked="" type="checkbox"/>				



31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	e-Learningコンテンツの視聴及び出席確認も兼ねて、授業で学んだ内容を毎週コメントシートにまとめてもらいます。			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" data-bbox="371 367 1414 564"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" data-bbox="371 607 1414 1196"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	無し	<input type="checkbox"/>																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-resi-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-resi-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-resi-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-resi-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
40. 教員の実務経験	無し			<input type="checkbox"/>																																																			

41. バリアフリー対応	無し	<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し	<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂

## シラバス基本情報

1. 開講年度	2024年度		2. 開講学期	後期前半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学共通科目		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	主題科目		6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング	cxxG	
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 災害とデータサイエンス				
	(英文名) Disaster and Data Science				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) 無し				
	(英文名) 無し				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 石塚 正秀				
	(ローマ字) Ishizuka Masahide				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	無し	
14. 対象学生	1～2年全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1・2年次／全学部	
16. 曜日・時限	無し		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	情報リテラシーB	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	データサイエンスを活用し た防災・危機管理  レジリエントな社会の構築 とコンピューターシュミレー ション
	連携大学 学生向け	特に無し		連携大学 学生向け	データサイエンスを活用し た防災・危機管理  レジリエントな社会の構築 とコンピューターシュミレー ション
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3つ 以上5つ以下)	データサイエンス、災害、防災・減災 Data Science, Disaster, Disaster mitigation				
21. 授業概要	<p>防災に活用できる科学的なデータとしては、災害に関するデータと、それを観測するテクノロジーについて、災害前(災害が起こっていない日常の時点と、災害が起こる直前)と災害後(直後、そしてライフライン復旧が求められる事後)という2つのステージでの議論が重要である。「災害前」としては、例えば、気象データなどは、雨量や温度、湿度、気圧などのデータが各地の気象観測所で集められ、また人工衛星から、可視光線、赤外線、電波などのセンサーを使って地表や地中を観測しデータが収集されている。このようにローカルからワールドワイドにいたる様々なデータを活用し、各種の災害情報が作成され、防災や減災に役立てられる。「災害後」としては、被災地に近い定点観測地点や衛星からのデータ、そして現場周辺のユーザーが発信しているデータなどが避難等に重要である。また、オープンデータの活用によって、国や自治体等と住民が連携しながら二次災害の減災に寄与することもできる。本講義で</p>				<input checked="" type="checkbox"/>

	は、こうした「災害」に係るデータの活用方法について担当教員がそれぞれの専門分野から説明する。	
22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	レジリエントな(強靱化)社会構築において重要なデータ(常時観測データ、被災地発信データやオープンデータ等)の収集・活用方法を学び、ハード・ソフトの両面から地域の安全・安心を議論できるようになる。	<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標／学修課題	1. 災害前と災害後におけるデータの活用の違いが何かを説明できる。 2. 災害前におけるデータ活用の事例とその効果について、自分の言葉で説明できる。 3. 災害後におけるデータ活用の事例とその効果について、自分の言葉で説明できる。	<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1週 ビッグデータでみる地球環境 第2週 ビッグデータでみるWater Risk 第3週 オープンデータから見るまちの強み弱み診断と地区防災計画、事業継続計画BCPへの活用 第4週 リスクコミュニケーションとデータサイエンス 第5週 ローカルデータとデータサイエンス 第6週 自助・共助・公助ならびに災害レジリエンスの強化とデータサイエンス 第7週 リスクマインドと心のレジリエンス 第8週 まとめ	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	毎週のコメントシートの作成に関しては、災害時に活用できる重要なデータ(常時観測データ、被災地発信データやオープンデータ等)の活用方法、地域の安全・安心への貢献度や重要性等について、文献等で事前に調べるなどして、独自の考えも展開するようにしてください。 自学自習(準備学習16時間+事後学習16時間) 【自学自習のためのアドバイス】 第1~2週 地球環境・水危機に対するビッグデータの利用について理解を深める(10時間) 第3週 地区防災計画、事業継続計画BCPに対するオープンデータの活用について理解を深める(5時間) 第4~5週 リスクコミュニケーションとローカルデータについて理解を深める(10時間) 第6~7週 災害レジリエンスとリスクマインドについて理解を深める(10時間)	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	コメントシート50点(到達目標1、2、3に対応)+小テスト50点(到達目標1、2、3に対応)により評価し、60点以上の評価により合格とする。 なお、期末試験は実施しない。	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	自大学学生向け 無し	<input checked="" type="checkbox"/>
	連携大学学生向け 無し	

30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:あり 香川大学60名・徳島大学10名・鳴門教育大学10名・高知大学10名・愛媛大学10名			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	e-Learningコンテンツの視聴及び出席確認も兼ねて、授業で学んだ内容を毎週コメントシートにまとめてもらいます。			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ウェブサイト <a href="https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/">https://chipla-e.ucel.kagawa-u.ac.jp/</a>			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	無し	<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-saigai-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-saigai-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-saigai-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	担当教員の電子メール(dscm-saigai-c@kagawa-u.ac.jp)を利用してください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			

40. 教員の実務経験	無し	<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	無し	<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	無し	<input type="checkbox"/>

2023年2月改訂